

米の価格は需要と供給のバランスなどで決まります!

米の価格が決まるしくみ

量が増えると価格が下がり、足りなくなると価格が上がる——。私たちの身の回りにある商品と同じように、米の価格も「需要と供給のバランス」などを基に決まっており、「生産にかかるコスト」も考慮していく必要があります。

最近の米の価格高騰の背景には、①国による需要と供給の見通しが実際とズレたこと（農家は国が示す目安を参考にして米を作っています）②米の不足感が強まり、米を確保する競争が激しくなったこと——などがあります。これらを含む複数の要因が重なり合い、今の米の価格となっています。

図1. 価格の決まり方



図2. 農水省の需要の見通しと実績



「JAが米価をつり上げている」は誤解です



農産物流通に詳しい
公益財団法人流通経済研究所
おりがさしゅんすけ
折笠 俊輔さん

NHKクローズアップ現代
など、メディア出演多数

近年、米の不足感があるなか、JA以外にも様々な集荷業者等が投機的な目的も含め、個別に農家を回り、より有利な価格を提示するなどして農家との取引を拡大しようとしています。

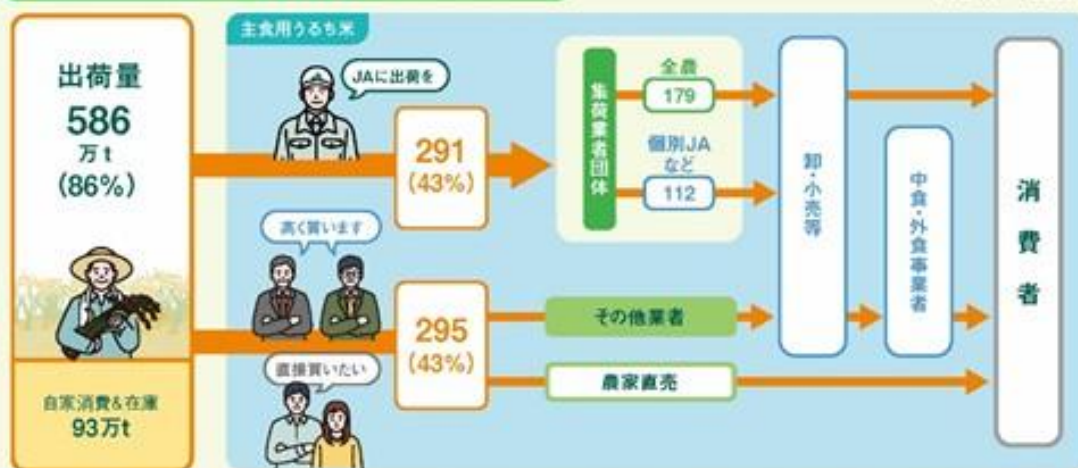
そのため、農家は販売先の選択肢が増え、

集荷競争が起こっています。こうした状況が、米の価格形成に影響を与えています。

米価は一般的な商品と同じように市場原理に基づいており、JAが米価を操作し、無理につり上げるようなことはできません。JAは年間を通じた安定供給を目指しています。

図3. 米の流通経路別流通量の状況 (令和6年度米)

(単位:万トン(玄米))



資料：農水省資料を基に作成。

注1：集荷業者団体には、全農連系を含む。注2：「卸・小売等」には、加工事業者等を含む。

注3：四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

米流通に関する
折笠さんの
詳しい解説は
こちら

